

つないでいく1.17 ～より「安全・安心な高速道路」の実現に向けて～

阪神・淡路大震災から30年 被災経験の継承

# 震災資料保管庫 特別開館

2025年1月で阪神・淡路大震災から30年を迎え、被災経験継承のさらなる契機とし、1月17日の直前の日曜日に、甚大な被害を被った阪神高速道路の被災構造物を保管している「震災資料保管庫」を特別開館いたします。

特別開館日

2025年1月11日(土)・12日(日)

9:30～16:30(最終受付 16:00)

場所

震災資料保管庫(神戸市東灘区深江浜町11-1)

- 当日は無料シャトルバスを運行いたします。
- 阪神深江駅から徒歩30分(約3km)。
- お車で来館いただけますが、駐車スペースに限りがあります。なお、駐車場内では係員の誘導に従って駐車いただきますようお願いいたします。
- 中型バスで来館の場合は事前にご連絡をお願いいたします。駐車スペースの関係から、大型バスでのご来館はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。

参加費

無料

参加方法

当日受付(事前申し込み不要)

内容

震災資料保管庫内はご自由に見学いただけます。



※被災構造物展示場所に暖房はございません。暖かい服装でご来館ください。

## 特別開館に併せて、以下の企画を実施します。

震災を経験し被災構造物の撤去や復旧に携わった当時の社員や、入社前に被災し入社後に先輩社員の経験を継承している社員。阪神高速道路(株)の4名の社員がそれぞれの立場で、1.17の経験と教訓をつなげている想いをお話させていただきます。

第1回 10:00開始 | 第2回 11:30開始 | 第3回 13:00開始 | 第4回 14:30開始

DVD上映 (約15分)

阪神高速道路の震災後の撤去や復旧に携った社員、その経験を継承する社員による講演会(約35分)

※それぞれの回で1名が登壇いたします。

阪神高速道路社員による被災構造物ご案内 (約45分)

※上記の企画は各回・定員30名(先着順)とさせていただきます。

満員となった場合は、参加をご遠慮いただく場合がございます。

※開始時間10分前に受付までお越しください。 ※講演者は変更になる場合がございます。

阪神深江駅付近



震災資料保管庫

シャトルバスを運行

※時刻表は阪神高速ホームページにて12月23日以降お知らせします。



特別開館中の2日間は「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」と「震災資料保管庫」を結ぶ無料シャトルバスを運行します。

「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」では下記の企画が開催中です。ぜひこの機会にご利用ください。



特別企画 1995.1.17から30年。あらためて知る 阪神・淡路大震災 ～30年を振り返り未来を展望する30コラム展～

◀ 詳しくは公式サイトでご確認ください。 ※「阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター」の観覧料は個人でご負担願います。

## 特別開館に関するお問合せ

阪神高速道路株式会社 技術部 技術企画課 06-6203-8888(平日 9:30～17:00) ※12/27～1/5は年末年始休業となります。

主催 阪神高速道路株式会社

共催 一般財団法人阪神高速先進技術研究所

震災資料保管庫の通常開館日は毎月第1・第3水曜日および第1・第3日曜日です。(一財)阪神高速先進技術研究所ホームページからお申込みいただけます。